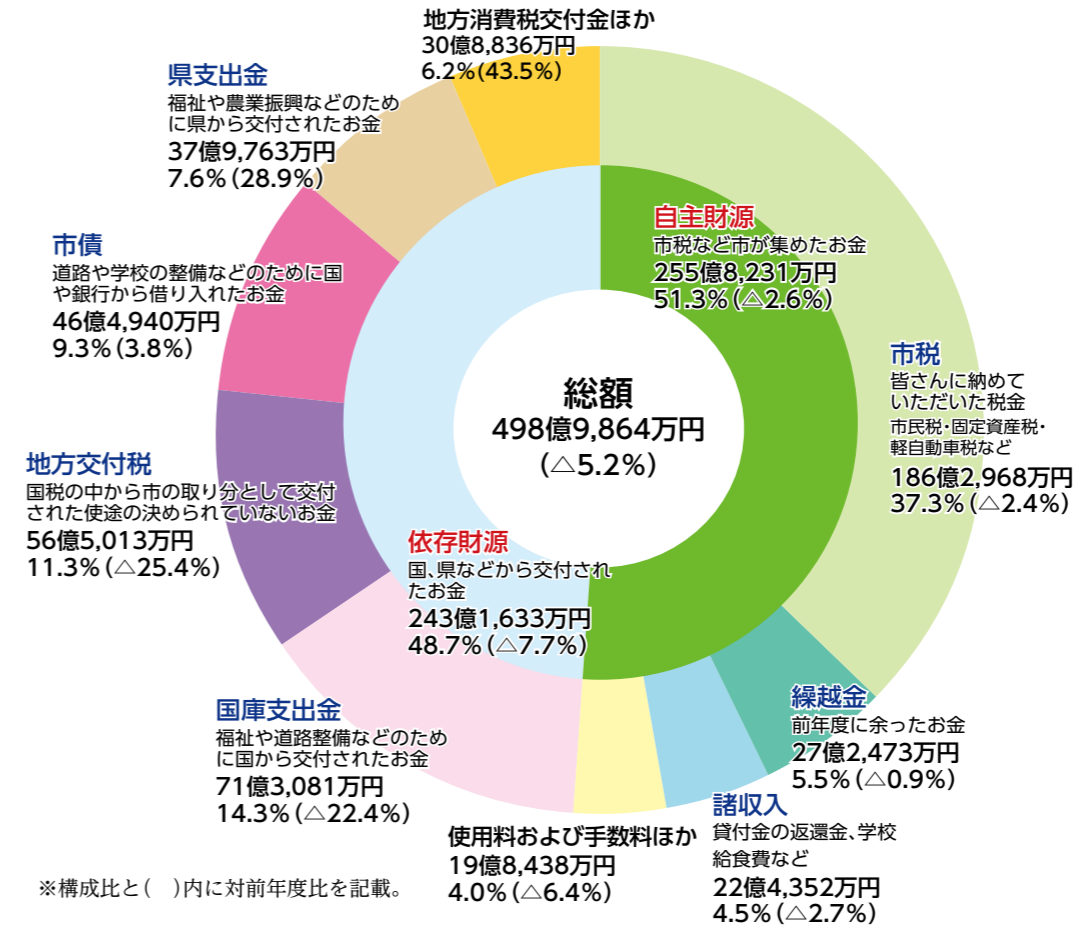


平成27年度の決算がまとまりましたのでお知らせします。
前年度と比べ、歳入では県支出金(民間保育施設に関するもの)が増えたものの、放射能対策事業費が減ったため、地方交付税と国庫支出金が大幅に減りました。歳出では民生費(民間保育施設に関するもの)が増えたものの、衛生費(放射能対策事業費)は大幅に減り、歳出の総額も減りました。
なお、本市の財政は、財政健全化判断指標から判断すると、引き続き健全な状態です。

歳入

498億9,864万円
対前年度比 △27億2,061万円(△5.2%)

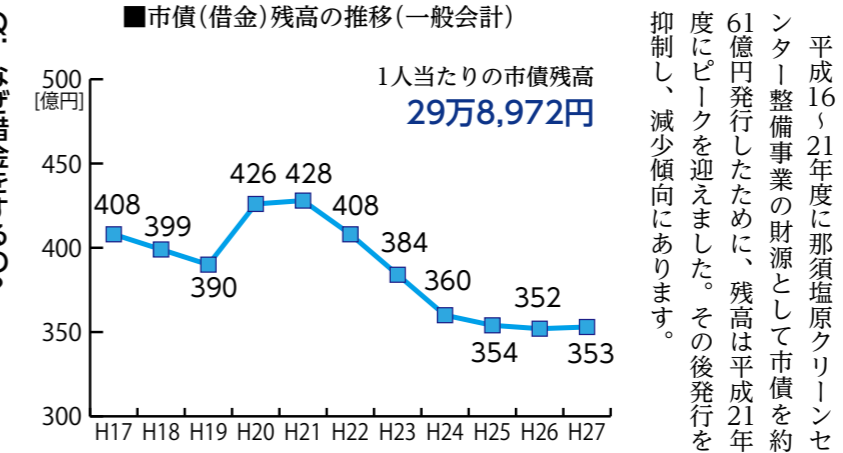
市民1人当たり
42万2,598円



■財産状況

公有財産						基金
土地	建物	山林など	無体財産権(商標権)	有価証券	出資による権利	※特別会計のもの含む
12,226,585㎡	402,872㎡	6,436,255㎡	1件	1,680万円	7億3,034万円	174億5,505万円

Q: なぜ借金をするの?
何十年も使用できる道路や学校などを建設するために借り入れたお金を、長い期間をかけて返済することで、負担の世代間の公平を図っています。

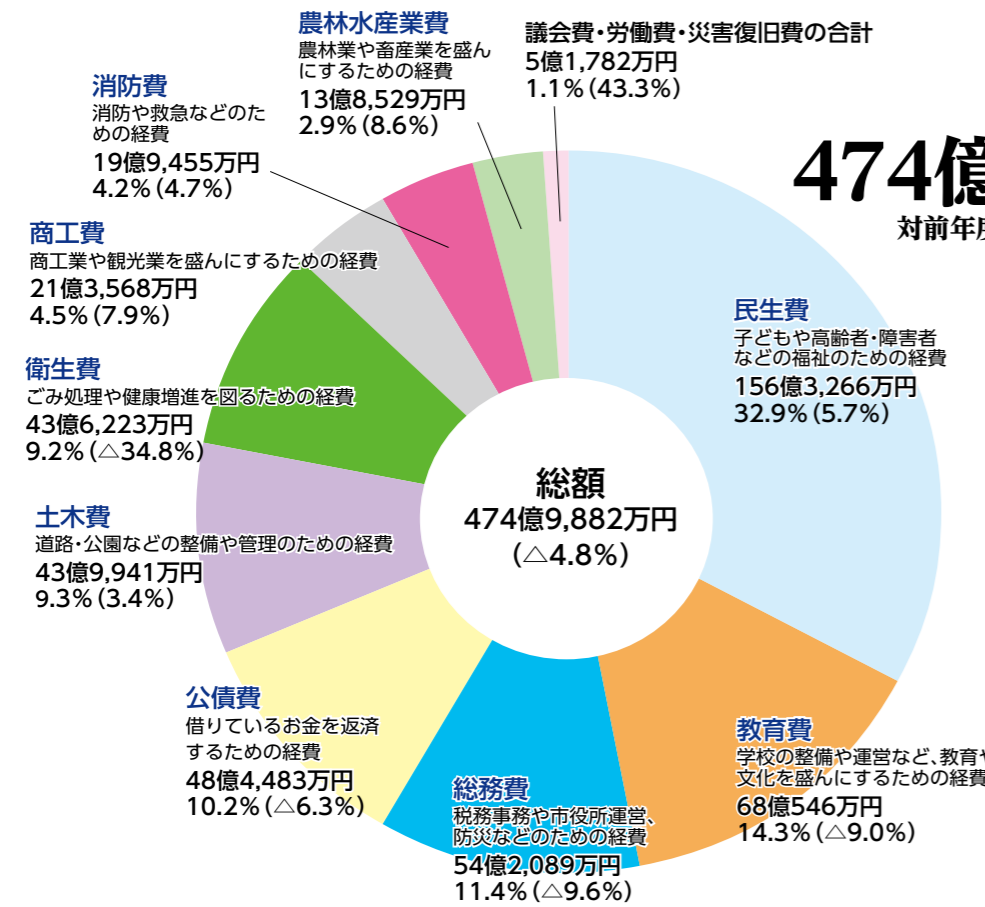


市債
平成16～21年度に那須塩原クリーンセンター整備事業の財源として市債を約61億円発行したために、残高は平成21年度にピークを迎えました。その後発行を抑制し、減少傾向にあります。

歳出

474億9,882万円
対前年度比 △23億9,569万円(△4.8%)

市民1人当たり
40万2,273円

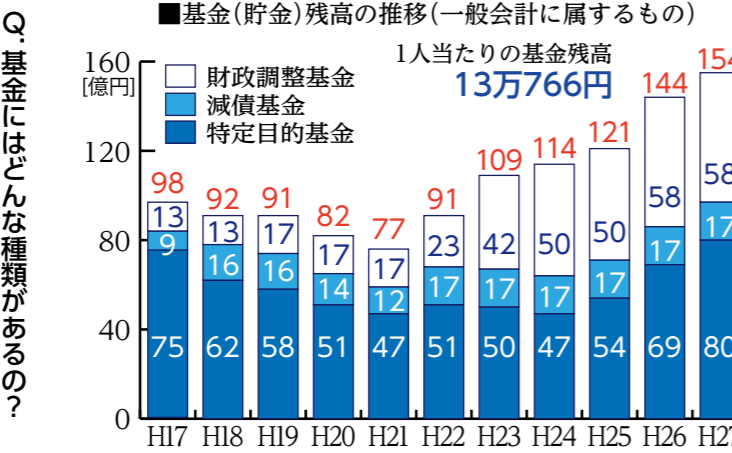


■市民1人当たりの歳出を分類すると

※住民基本台帳人口:118,076人(平成28年3月31日現在)。

民生費	132,395円	教育費	57,636円	総務費	45,910円	公債費	41,031円
土木費	37,259円	衛生費	36,944円	商工費	18,087円	消防費	16,892円
農林水産業費	11,732円	議会費	2,691円	災害復旧費	1,571円	労働費	123円

Q: 基金にはどんな種類があるの?
主なものは次のとおりです。
・財政調整基金…財政の健全な運営確保のため。
・減債基金…市債の返済と市債の適正な管理に必要な財源確保のため。
・特定目的基金…特定の事業(保育施設や庁舎の整備)の財源確保のため。



基金
基金残高は、平成22年度から増加傾向にあります。平成27年度は新庁舎整備基金に9億円、公共施設等有効活用基金に2億3千万円を積み立てました。